

これからのまちづくりを学び、10年後の未来について話し合いました！

～ 第1回 とうかい未来づくり会議 開催レポート ～

2021年12月18日(土)13時半～16時半、東海市立商工センターで「とうかい未来づくり会議」を開催しました。この会議は、今後10年間のまちづくりの方針を定める総合計画づくりの一環で開催するものです。市民の皆さんと一緒に、「これから10年間の東海市の暮らし」について生活者の視点で自由に話し合い、今後の主な課題や求められる具体的なまちづくりの取組について考えることを目的として、令和3年12月～令和4年11月まで計5回程度開催する予定です。以下、第1回の会議の様子をご紹介します。

■ 20歳代から70歳代まで様々な世代の市民が参加し、市長のあいさつからスタート

参加されたのは、活動団体や企業からの選出者含む市民50名程度。市民の参加者には、20歳代から70歳代まで幅広い世代の方に集まっていただきました。会の初めには、市長からあいさつがあり「誰もが東海市に住み続けてよかった、これからも住み続けたいと思えるようなまちづくりを推進していきたい」といった話をされました。



■ 専門家の先生から「これからのまちづくり」について学びました

会議のスタートとなる今回は、今後よりよい議論をするために必要な知識や情報をみなさんと一緒に学び共有することから始めました。

日本福祉大学国際福祉開発学部特任教授の千頭先生を講師にお招きして、「これからのまちづくり」についてミニレクチャーをお願いしました。千頭先生からは、SDGsの考え方についてお話をされた後、「地域の持続可能性を高めるために最も大切なことは『未来のまちとくらしの姿をきちんと描くこと』ではないか」というお話がありました。また、持続可能な未来の東海市とはどのような地域・社会なのかを考えていくことも必要だという話をいただきました。



■ 個人ワーク『10年後の東海市』を考えよう！』

10年後、「誰が」「どこで」「誰と」「何をしている」ということを各自で想像するワークを行いました。グループワークでは、自分の10年後を考える方もいれば、子どもや家族のことを想像する方もいらっしゃいました。考えた場面もバラエティに富み、東海市のいろいろな方向性がこのワークからだんだんと見えてきました。

10年後の東海市 想像カード	
誰が	自分
どこで	自宅横の借家
誰と	家族と
何をしている	草木の手入れをしている
東海市はどんなまちになっている？	通勤や通学しやすいまち

10年後の東海市 想像カード	
誰が	自分や仲間
どこで	リアルとバーチャル
誰と	志が同じの人(多数)
何をしている	夢・目標に向かって
東海市はどんなまちになっている？	多様な関係人による交流

■ グループワーク「みんなの未来を合わせよう！」

個人で10年後に東海市はどうなっているかを想像した後は、各自で考えた「10年後の東海市」を持ち寄り、みんなの未来像を合わせていくワークを行いました。それぞれの未来像から関心のあるテーマについてざっくばらんに議論しました。それぞれ考えてきた未来像を持ち寄り、つなぎあわせることで東海市全体の将来イメージが膨らんでいきました。また議論する中で、今後10年間のまちづくりのテーマやキーワードも発掘されました。



■ 各グループの成果を発表し、千頭先生からアドバイス

最後に、各グループの代表者が成果を発表しました。各グループで視点や関心が異なっていく中で共通しているテーマも見られました。発表では「地域で子どもを育てる」という子育てについてのテーマから、「世代間交流や国際交流」という多様性についてなど、様々なテーマが発表されました。

発表後、千頭先生からまとめのコメントをいただきました。人がまちを育てる・まちが人を育てるという相互関係を築いていけたらよいのではないかというアドバイスをいただきました。



■ 最後に継続的な協力をお願い

閉会にあたり、改めて事務局より、今回の市民会議は、総合計画づくりの本格的な議論の場であることをお伝えし、今後も引き続きご参加・ご協力いただくことをお願いしました。

